

第四報：2020年12月18日

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大を防止する上で引き続き対策が必要となっております。すでにご存知の通り、高齢者や基礎疾患を持っている方は感染症が重度化しやすいことから、下記対策を行い、利用者さま及びスタッフへの感染予防に努めて参りながら、利用者様が安心してご利用できるデイサービスの運営を目指します。

1. 新型コロナウイルスとは

別紙の厚労省が通達した文書を参照ください。

2. 東京マルシェ池上での対策について（自主基準）

A) 出勤時の健康チェックの実施

デイサービス（以下、DS）スタッフは出勤日の朝に健康チェックを実施してください。「発熱（概ね37.5℃以上）」や「呼吸器症状（咳、痰、呼吸困難等）」がないかを確認し、健康チェックシートに記録します。発熱・呼吸器症状がみられる場合は、チェックシートに記入するとともに、速やかに管理者に報告をしてください。その場合は、自宅等でもマスク等を着用し、他人との接触を避けてください。健康チェックシートは月単位で記録し、社内保管します。（健康チェックシート：別紙）

B) スタッフの手洗いの徹底

出勤時は、必ず、手洗いおよび手指の消毒の徹底をお願いいたします。また、**DS 昼食後の利用者さんの食器の片付けを行うなど各作業終了後も**、手洗いもしくは手指の消毒を行うなど、一手技一手洗いを実施してまいります。※正しい手洗い方法は、別紙の厚労省通達をご参照ください。

C) 利用者さまの通所時及びサービス時間内でのこまめな消毒を実施

これまで、昼食前のみ実施していました手指の消毒を下記の通り行うこととします。

消毒：アルコール

- ① 来所時のバイタルチェックの前…手指消毒を行う
- ② 各体操レッスン終了後…手指消毒

D) 室内換気

下記の時間帯は、それぞれ入り口ドアを開け、常に室内換気を行うこととします。但し、当日の天候により臨機応変にご対応願います。

- ① レッスン開始後完全開放
- ② その他の時間は、ドアにストッパーをつけ開けておく

E) 室内加湿消毒

ウイルス除去・除菌の働きを持つ二酸化塩素を発生させるクレベリン超音波加湿器を新たに設置しました。DS 始業前に注水し、終日起動させてください。（電源ボタン緑、クレベリンスイッチボタン紫が点

灯)



F) 利用者さまの席間隔を空け、パーテーションを設置

飛沫感染防止のため、当面の間、利用者さまの各テーブルの間隔を空け、さらにパーテーションを設置します。1テーブルの着席は2名までとします。



G) 椅子体操クラスの指導方法を変更します

飛沫感染防止のため、インストラクターによるリアルレッスンは、フェイスガードまたはマスクを着用の上、実施することといたします。

また、利用者さまの椅子の間隔をこれまでより広く確保し、実施します。

H) 昼食時は、利用者さまの席での食事を中止にします

飛沫感染防止のため、当面の間、スタッフと利用者さま相席での食事を見合わせます。事務スペースで食事をする際も、最大3名までとし、各スタッフは時間をずらして食事をするようにします。

I) 食後のコーヒー後のマスク着用のお声かけ

食後のコーヒーを召し上がった後、各テーブルでマスク着用のないままお話が弾む場面も時折みられます。ご利用者様が食後のフリータイムに楽しく過ごされることは喜ばしいことですので、飲み終わられた方から着用をしていただくなど、さりげない声かけをしていきます。

J) DS 営業中の来客対応の回避

DS 営業中は、事務スペースでの本社業務による来客を当面の間見合わせます。また、DS スタッフ以外の職員は、DS 営業中は必要がない限り、第二スタジオ等で業務を行います。

K) 手の触れる部分（手すり等）の消毒徹底

営業前や営業終了後はもちろん、スタッフや利用者さんが触れる部分はこまめに消毒をするようにします。また、スタッフがトイレに入った際は、ドアノブや手すりを消毒後業務に戻ることとします。

L) 運動器具及びバイタル機器の消毒徹底

機能訓練で実施した道具（セラバンド、棒、ボール、ヨガブロック）は、使用后消毒するようにします。
また、バイタル機器（体温計、パルスオキシメーター、血圧計）についても、使用后消毒するようにします。

以上

東京マルシェ池上_20201218